

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



みんなで力を合わせて (1月28日 富家小学校体育館)

毎年恒例の「備中地域綱引き・縄跳び大会」(教育委員会備中分室主催)が行われ、備中地域の子どもたちや愛好家など約180人が出場しました。

チーム構成は8人1組。縄跳びの部には、12チームが参加し、3分間に連続して跳んだ回数を競い合い、綱引きの部には、3部門に10チームが参加して熱戦を繰り広げました。

出場者は周囲から応援を受け、仲間と力を合わせて力を振り絞り、会場には声援と熱気があふれていました。

子どもたちが備中神楽を披露 (1月21日 成羽文化センター神楽館)

「子供神楽発表会」(成羽備中神楽振興会主催)が開かれ、地元の神楽育成会をはじめ保育園、小中学校などから5団体約60人が出演して、日ごろの練習成果を披露しました。

猿田彦や大国主、大蛇退治など13演目を演じ、訪れた家族や神楽ファンら約100人を魅了しました。



作品展示や芸能発表 (1月30日～2月4日 有漢生涯学習センター)

「高梁市うかん文化祭」(同実行委員会主催)が行われ、展示の部(1月30日～2月4日)では公民館講座や有漢地域の団体、個人の作品など約770点が展示されました。

また、最終日に行われた発表の部では、市内18団体が童謡や芸能などを披露。会場に訪れた約350人は合唱や大正琴などの発表を楽しみました。

おもちうまく焼けたかな (1月13日 川上小学校グラウンド)

「とんど祭り」(川上小PTA主催)が行われ、児童や保護者、地域住民ら約250人が参加しました。

持ち寄ったしめ飾りや書き初めなどを燃やし、炎の中にもちをくべるなどして、伝統行事を満喫しました。

また、豚汁が振る舞われたり福引きなどもあり、参加者らは楽しく交流を深めていました。





空高く飛べ 手づくり^{だこ}り凧 (1月13日・28日 宇治総合会館・宇治学園グラウンド)

市中央高原三地域懇談会主催の「三世代交流手づくり^{だこ}り凧揚げ大会」が行われました。

同懇談会は、市中部の高原地帯に位置する宇治・吹屋・中地区の住民有志が、地域を超えた交流を通じた地域の活性化を目指して、平成17年8月に設立。三地域住民を対象とした初めての交流事業として開催しました。

三地域の幼児・小学生と保護者ら約90人が参加。13日に地元老人クラブの皆さんの指導を受けながら凧づくりに挑戦し、28日にはそれぞれが手づくりした凧で凧揚げを楽しみました。

鬼は外!福は内! (2月2日 成羽町美術館)

鶴鳴保育園と成美保育園の園児約90人が、同美術館で開催していた「真鍋芳生展 鬼まんだら」のワークショップで作った張り子のお面や、画用紙などで作ったお面などをかぶって豆まきを行いました。

美術館職員や先生が鬼の衣装を着て現れると「鬼は外!福は内!」と元気いっぱい豆をまく子や、鬼に驚き泣き出す子などさまざま。

鬼が去っていく時には、「またね～」とみんなで手を振る場面もあり、みんなで楽しい時間を過ごしました。



100歳おめでとうございます

100歳(明治40年生まれ)の誕生日を迎えられた3人を市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。市内で100歳以上の人は、2月7日現在で24人(男性6人、女性18人)



●犬間カヨさん(松山)
1月2日生まれ。長寿の秘訣は「規則正しい生活を維持したこと」
〈1月17日 自宅にて〉



●上森さきさん(巨瀬町)
1月10日生まれ。長寿の秘訣は「若いときによく働いたこと」
〈1月10日 自宅にて〉



●赤迫花子さん(成羽町成羽)
1月28日生まれ。長寿の秘訣は「好き嫌いがいいこと」
〈2月7日 特別養護老人ホーム鶴寿荘にて〉

今月の 表紙

かるた遊びで交流 ～高粱子どものつどい2007～

2月3日、市民体育館で「高粱子どものつどい2007」が開かれ、市内の児童30人が「かるた遊び」や「紙飛行機飛ばし」を通じて交流しました。

「かるた遊び」では、備中松山城など市に関連するものを題材にして、この日のために児童が手づくりした大型かるた(A4判)を使用。読まれた札を見つけた児童は元気いっぱい「あった～」などと大声を上げていました。

また、「鬼ごっこ」や「ボール運び」なども行われ、会場には児童たちの楽しそうな声があふれていました。